

所信表明

市長
荒木 義行



4期目の決意

去る3月に行なわれた合志市長選挙において、引き続き市政を担わせていただくことになりました。

改めて私に課された使命と責任の重さに身の引き締まる思いです。

これまで、3期12年間、本市の発展に尽くしてまいりましたが、4期目の市長就任後、今後の4年間の市政運営に当たり、私の所信を施政方針として申し述べ、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、わずか2年半の期間で社会が一変しました。当たり前だと思っていた日常生活が、決して当たり前ではなく、かけがえのないものであるということを知り知らされました。コロナ禍、コロナ災害からのちを守るための感染症対策と、日々の暮らしを支えるための経済対策を両立しコロナ対策を進めてきました。市として新型コロナウイルス感染症対策本部を設置してから、会議開催回数は40回を超え、めまぐるしく事態が変容するさまざまな課題について協議を重ね、対応してまいりました。昨年のデルタ株から

本年のオミクロン株などによる、まさに感染爆発ともいえる状況の中、住民に一番身近な基礎自治体として県と連携しながら必要に応じて対応を見直し、さまざまな対応を実施してきました。

これからは、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業に取り組み、基礎自治体の役割をきちんと果たし対応してまいります。

政策課題としては『合志市総合計画第2次基本構想』で示した、将来都市像「元気・活力・創造のまち」の実現を目指して、まちづくりの基本理念である「人と自然を大切にされた協働によるまちづくり」の達成に向け新たな課題に対応しつつ「自治の健康」「福祉の健康」「教育の健康」「生活環境の健康」「都市基盤の健康」「産業の健康」の6つの健康の実現に積極的に取り組むとともに、SDGsの達成に向けた取り組みを行います。

※SDGs
持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標

本市が直面する6つの重要課題

1 少子高齢社会への対応

本市は、人口増加が続いていますが、自然増による増加は微増になり、社会増により増加が続いている現実があります。

本市で、子どもを生み育てやすい環境をさらに推進してまいります。平成22年の就任当時の認可保育所は15カ所でしたが、これまでに8園を増園し現在は23カ所の認可保育所を認可することも、認定こども園を3園、地域型保育事業所5園を設置し、定員についても1,100人以上増員し待機児童の解消にこれまで努めてきました。これからも、柔軟な対応による保育所や学童保育施設の整備などに取り組めます。

また、子ども医療費について、子育て支援の一環として財源の確保を図りながら、18歳までの医療費無償化について今議会での条例改正を行ない、来年1月からの実施を目指してまいります。

教育においては、グローバル化や情報化など社会の急激な変化に伴って高度化し複雑化する諸課題への対応が必要となっております。

子どもたちが夢と憧れを持ち、自分ができることを継続し、習慣化すること

で「生きる力」を身につけてそれぞれの夢を実現し、幸福で明るく笑顔あふれる合志市の未来を拓く心豊かな人材を育てるためのひとつの手段として小中一貫教育を推進し、ICT機器を積極的に活用した教育活動の充実と居場所のある学校づくりを推進してまいります。

一方、人口が多い団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、超高齢社会を迎えることによる『2025年問題』は、雇用や医療、福祉といったさまざまな分野への影響が予想されています。

誰もが年を重ねても、一人暮らしでも、安心して住み慣れた地域で住み続けることができるように、現在、個別で運用している高齢者・健康・福祉・見守り事業などをこれまで以上に地域のマンパワーとあわせて横断的に結びつけ、行政と市民の双方向性の市民サービスを目指して、DXも活用した、官民連携の健康都市こうしの仕組みづくりを進めてまいります。

※ICT
情報通信技術のこと

※DX
デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を活用し、生活をより良いものへと変革していくこと

2 未来を見通した 都市基盤を整備した まちづくりの実施

御代志地区土地区画整理事業は、平成30年度から事業を進めてきましたが、本年度、熊本電鉄御代志駅の移転や駅前広場の整備が行なわれます。

商業施設も、事業者の選定が完了し、今後、造成工事と建築工事が開始され、令和5年度末の開業を予定しています。本事業により、本市の東西と南北の軸が交差する基点に新たな拠点が生まれ、隣接する地域を生かした、運動性・回遊性のあるまちづくりにさらに取り組んでまいります。

また、これまで整備してきた公共施設が、建築から数十年経過し順に更新時期を迎えます。平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画を基に、公共施設の計画的な建替えや大規模改修工事などを市民生活に支障をきたすことがないよう、着実に進めてまいります。

市民の健康づくりと憩いの場でもある公園や社会体育・社会教育施設などは、これまで以上に市民の健康づくりの場となるよう、地域住民のご意見をお聞きしながら、ハード・ソフト両面でさらに活用できるように検討してまいります。

▲新御代志駅の開業に向けて工事が着々と進んでいる

▲子どもたちの元気な声で溢れている合志楓の森小学校・合志楓の森中学校